



Title	OUFCブックレット 研究案内
Author(s)	
Citation	OUFCブックレット. 2017, 11, p. 3-5
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/60504">https://hdl.handle.net/11094/60504</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

# 研究案内

## ■ 課題の発見 ■

20 世紀中国政治史に関連する教科書・研究案内として、以下の書籍が公刊されてきた。

『現代中国の起源を探る史料ハンドブック』中村元哉・大澤肇・久保亨編，東方書店，2016。

『現代中国政治研究ハンドブック』高橋伸夫編，慶應義塾大学出版会 2015。

『新史料からみる中国現代史：口述・電子化・地方文献』高田幸男・大澤肇編著，東方書店 2010。

『中国歴史研究入門』礪波護・岸本美緒・杉山正明編，名古屋大学出版会，2006。

『中国研究ハンドブック』（原典中国現代史・別巻），岡部達味・安藤正士編，岩波書店，1996。

『日本の中華民国史研究』野澤豊編，汲古書院，1995。

『中国史研究入門・増補改訂版』（下），山根幸夫編，山川出版社，1995。

『近代中国研究案内』小島晋治・並木頼寿編，岩波書店，1993。

『近代日中関係史研究入門』，山根幸夫・藤井昇三・中村義・太田勝洪編，研文出版，1992。

『中国近代史研究入門：現状と課題』，辛亥革命研究会編，汲古書院，1992。

『現代中国研究案内』（岩波講座現代中国・別巻 2），野村浩一・山内一

男・宇野重昭・小島晋治・竹内実・岡部達味編，岩波書店，1990。

中国近現代史をテーマとする卒業論文を執筆するための手引書として『中国近現代史研究のスタンダード：卒業論文を書く』（田中比呂志・飯島渉編，研文出版，2005）が，さらに修士論文・博士論文を具体化する指針として『21世紀の中国近現代史研究を求めて』（飯島渉・田中比呂志編，研文出版，2006）出版された。

また，(1)『アジア研究』（アジア政経学会，季刊），『アジア経済』（アジア経済研究所，月刊），『国際政治』（日本国際政治学会），『国際問題』（日本国際問題研究所）などのアジア学・国際政治学関係学術誌；(2)『歴史学研究』（歴史学研究会，月刊），『歴史評論』（歴史科学協議会，月刊），『史学雑誌』（史学会，月刊），『東洋史研究』（東洋史研究会，季刊），『社会経済史学』（社会経済史学会，双月刊）などの歴史学関係学術誌；(3)『現代中国』（日本現代中国学会，年刊），『中国研究月報』（中国研究所，月刊），『中国：社会と文化』（中国社会文化学会，年刊），『中国21』（愛知大学現代中国学会），『現代中国研究』（中国現代史研究会，半年刊）などの中国学関係学術誌を図書館などで通覧する（「目次」に目を通す）ことによって，最新の研究状況がどのようなものであるのかをイメージできるであろう。その際，これらに掲載された「書評」にも注目したい。評者による研究動向の概括とそれをふまえた評書に対する批判的コメントは，課題の発見のヒントとなりうるからである。

『史学雑誌』の5月号は「201\*年の歴史学界：回顧と展望」と題する特集号で，前年に発表された歴史学関係の専著・論文をサーベイしつつ各分野における研究上の潮流・論点を提示する。

概説書・研究書の多くは，参考文献あるいは参照文献を巻末に一覧として掲げていることが多い。これらは課題を発見するための手引きとして活用できる。

## ■ 文献の探索 ■

CiNii (<http://ci.nii.ac.jp/>) は国立情報学研究所 (NII) による学術情報で検索できるデータベース・サービスである。それぞれの大学図書館の OPAC との併用がのぞましい。また、大学図書館のホームページの多くに「リンク集」が設けられているが、これらは文献検索のための有益なツールである。

国立国会図書館サーチ (<http://iss.ndl.go.jp/>) は、国立国会図書館をはじめ、全国の公共図書館、公文書館、美術館や学術研究機関等が提供する資料、デジタルコンテンツを統合的に検索できる。

『東洋学文献類目』(1963-, 京都大学人文科学研究所附属東洋学文献センター) は東洋学に関する論文と単行本を年次ごとにまとめ、内容によって分類した網羅的索引である。1981 年度版以降はデータベース化され、Web 検索が可能になった (<http://ruimoku.zinbun.kyoto-u.ac.jp/ruimoku/>)。

アジア歴史資料データベース (<http://www.jacar.go.jp>) は、国立公文書館・外務省外交史料館・防衛庁防衛研究所所蔵の資料群をデジタル化し公開している。

『中国関係論説資料』(論説資料保存会, 1965-) は、研究所・大学などが発行した定期刊行物に収録された中国関係論文のリプリント版である(第1分冊: 哲学・宗教, 第2分冊: 文学・語学, 第3分冊: 歴史・政治・経済Ⅰ, 第4分冊: 歴史・政治・経済Ⅱ)。研究課題がある程度具体化した段階で、関連分冊の「目次」部分を通覧することは極めて有益である。また『複印報刊資料』(中国人民大学書報資料センター) は、『中国関係論説資料』の中国版というべきもので、中国各大学の紀要類で発表された文科系の関係論文をテーマごとに冊子体にしたものである。